

人民文学

復刻版

全一五巻・

別冊一・付録一

(一九五〇年～一九五五年)



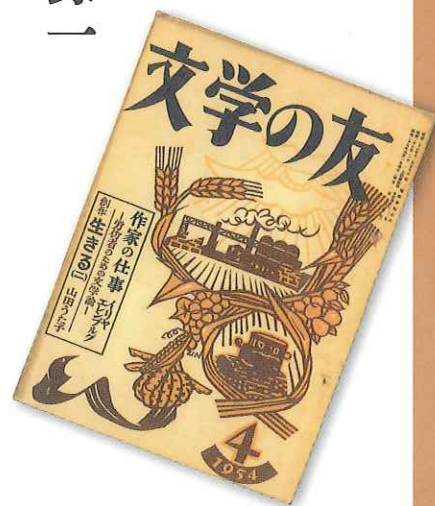
発行.. 人民文学社
別冊.. 解説・回想・総目次索引+DVD(表紙画像データ収録)1枚
解説.. 道場親信、鳥羽耕史
回想.. 柴崎公三郎
推薦.. 加納実紀代、島村 輝、坪井秀人、成田龍一
定価.. 本体揃価格二五六、〇〇〇円+税(全4回配本)

戦後文学運動を新たな文脈で見直すための重要雑誌！

一九五〇年、「新日本文学会」から離れた江馬修や藤森成吉らによって創刊された本誌は、各地で発行されたサークル誌の中心的存在であり、安部公房・野間宏らの文壇作家や、小林勝・春川鉄男ほかの労働者作家、許南麒ら在日朝鮮人作家等が参画した戦後民主主義文学運動の拠点であった――
後継誌『文学の友』他も併せて収録し、新たに「解説・回想・総目次索引」を付して刊行！



(左から柴崎公三郎、安部公房、野間宏)



不二出版

刊行の辞

敗戦後、全国各地で新たな文化運動が勃興し、それにともなつて多数の文芸雑誌やサークル雑誌が誕生した。『人民文学』は、一九五〇年一月に創刊された、五〇年代前半のサークル運動の興隆を担つた「中央誌」として、安部公房・野間宏らの文壇作家や、小林勝・春川鉄男・足柄定之らの労働者作家、さらに許南麒ら在日朝鮮人作家などが中心となり、有名無名を問わず多くの作家や詩人によつて支えられていた。

しかしながら、本誌の評価は従来、文学史においては「政治と文学」との関係性において、政治過剰な時代の産物あるいは『新日本文学』との対立という形で記憶され、社会運動史においては、日本共産党の党内闘争の派生物として位置づけられてきた。

小社では、すでに九州の『サークル村』、大阪の『ヂンダレ』、東京下丸子の「東京南部サークル雑誌集成」等の復刻出版を経て、一九五〇年代の再評価・読み直しのための資料を提供してきた。本企画も、それらサークル運動の中心的存在ともいえる本誌、ならびに後継誌『文学の友』、『別冊文学の友』及び、岩上順一著「小林多喜二―人と作品」を復刻し、一九五〇年代の多様な「記録」の宝庫として刊行するものである。



(写真提供＝柴崎公三郎氏
・本カタログ収載の3点とも)

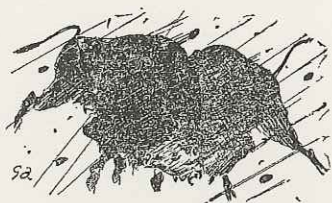
不二出版

主要執筆者一覽

赤木健介	こばやしつねお	春川鉄男
阿川弘之	小林 勝	広末 保
足柄定之	斎藤 千	深尾須磨子
安部公房	酒井真右	富士正晴
安東次男	サカイ・トクゾー	藤森成吉
石原青龍刀	佐藤忠良	朴元俊
岩上順一	島田政雄	本郷 新
岩倉政治	杉浦明平	柁木恭介
上野英信	鈴木賢二	松島栄一
江口 寛	鈴木 信	松田解子
江馬 修	タカクラ・テル	真鍋呉夫
及川とおる	滝平二郎	丸木位里
大野 碌	竹内 好	箕田源二郎
岡亮太郎	淡徳三郎	山岸外史
小野十三郎	曹良奎	山崎正和
片羽登呂平	徳永 直	山田うた子
金時鐘	豊田正子	山田清三郎
金親 清	中谷 泰	除村吉太郎
河原崎長十郎	中野秀人	渡辺順三
木島 始	中村翫右衛門	
貴司山治	新島 繁	ほか
許南麒	新居広治	
呉 隆	野間 宏	

人民文学

創刊号目次



人民に仕える文藝

（論説） スケッチは大きな文学である
文学者と平和を守る運動

私たちの村……

「私たちの村」と作者：

人民作家のおもか

(時評) 詩人の性格……………⁽¹⁾ 中国 趙樹理

朝鮮・ソ同盟・アメリカ・中国

[illegible]

真夜中の爆音

霜
で
白
い
道

表紙……「解放された父ちゃん」 斎岸（中）

國際文學通信

朝鮮……………地下から出た文藝

ソ・同盟 ……………ソ同盟の作家から朝鮮の作家たちへ

ドイツ…………ドイツ作家同盟の誕生

アメリカ………大詩人・ホイットマンの記念祭

中国……………^{サインラン}丁玲と文藝報

地下から出た文藝

—朝鮮の海—

[illegible][illegible]

長次郎の妻



安永三年（一七七四年）十二月五日、この朝は雪が一、夜は晴裏
 であつた。牛車巻が高山寺の所へ別へ出で出たので、祈願の申しし
 があつたこと、うらへスオ村名主、名主長次郎の四が陳辨、本郷村
 九郎、本郷村の二が首で来た。この申し申し渡が、すむと、なだち
 へ山で、川邊川原のおききがおたふし、おたふし、おたふし、おた
 へ山の上になつた。牛車巻はほとんど村へ行く。おたふし、おた
 わたり、深谷、節がとくとを寒しい。節の中へ、とめてしつ
 だ、彼らは言明とおききくすつて思ひやう。おたふし、おた
 長次郎が一際、たふしが何となく知らぬでいた。

長次郎はメダカ村のほか、山梨村西洞村をかねた古い名主であつた。家も間口六間、奥行六間もあり、小さいながら土蔵まであつて、當時の豪族と、女房のおきしい方であつたが、現在家族は、七十かちの母親と、七郎は大きい二人しかいなかった。ついでないで、長次郎夫妻は子になかつたので、長次郎の甥を養子にもらひ、それに嫁さへもたせてあつた。ところが、昨年の暮、一袋の件

[illegible]

— 52 —

[illegible][illegible][illegible]

推薦文

あり得たかも知れない 「もう一つの戦後」

加納実紀代
(敬和学園大学)

かつて、皇居前広場が人民広場と呼ばれた時代があった。敗戦から一九五〇年代初めの時期である。一億玉碎を生き延びたかつての「臣民」のなかには、象徴天皇に統合される「国民」を肯んぜず、「人民」にこそアイデンティティを見いだす数多くの人びとがいたのだ。「人民文学」にはそうした人びとの思いが凝縮されている。

『人民文学』刊行の時期は朝鮮戦争にほぼ重なる。戦後史を振り返れば、朝鮮特需によって日本は戦後復興を遂げ、高度経済成長になだれ込んでいくのだが、『人民文学』の目次をたどれば、けっして人びとはただそれに踊らされていたのではないことがわかる。単独講和による独立や警察予備隊批判、原爆、松川事件など占領下の弾圧問題、また松田解子の花岡事件をテーマにした「地底の人々」が連載されているように、朝鮮・中国に対する日本の加害責任もしっかり直視されている。

女性筆者もけっこう多い。豊田正子・松田解子・山代巴などのプロ作家のほか、サークル運動の女性たちのさまざまな表現活動も載っている。この激動の時代、「人民」たる女性たちは何を考え何を感じ、それをどう表現したのだろうか。そこからは商業雑誌からは見えない女性たちの姿が浮かびあがってくるにちがいない。

『人民文学』の復刻は、あり得たかも知れない「もう一つの戦後」の証言として、大きな意味を持つ。



〈人民〉の揺らぎ、その可能性

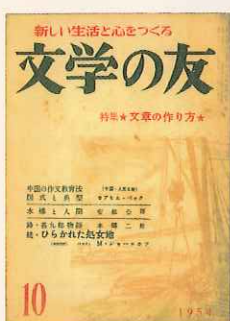
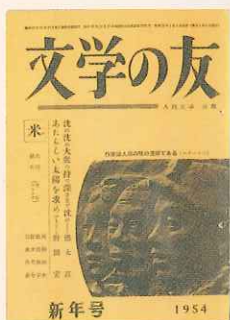
坪井秀人
(名古屋大学)

英語でpeopleは常にpeopleであり、それは揺らぐことはない。〈庶民〉から〈国民〉まで多様な領域を内包するからこそ、peopleのこの揺らぎのなさには、逆にいかがわしさが付きまとう。雑誌『人民文学』が立ち上げた〈人民〉という主体は、一九五〇年代日本の同時代のはげしい波にもまれながら、そうした〈いかがわしさ〉をするどく突き抜けて、私たちの目の前に、いままさによみがえろうとしている。『人民文学』を繙くと、ところどころで、日本国内はもとより中国や朝鮮半島あるいは他の海外地域の〈人民〉との連携をうたう言説や表象に出会う。その末期には国民文学論の拠点メディアの一つともなった『人民文学』も〈民族〉や〈国民〉の一国主義的な枠組から自由であったわけではない。だが、『人民文学』が主体化した〈人民〉は、普遍を目ざしつつも普遍に落ち着くことのない、はげしい揺らぎを体現しつづけた存在だった。占領体制と片面講和への途、松川事件ほかの国内の諸事件、そして朝鮮戦争、革命後の中国など、揺れ動いてやまぬ東アジアの圏域のなかで、日本列島の来し方行く末をまなざし、あるいは労働者として、あるいは作者として、現場に入り込む、この雑誌の〈人民〉たちの足取りは、勇ましければ勇ましいほどに、あぶなっかしい。だが、そのあぶなっかしい足取りを見直すことを通して、いまの私たちには、peopleの普遍主義とはまったく異なった連帯と協同への道筋の可能性も見えてくるのではないだろうか。

五十年代文化を 考える必見資料

島村 輝
(フェリス学院大学)

サンフランシスコ講和条約・日米安全保障条約が調印された一九五一年の前後は、近現代の日本とそれをめぐる地域の歴史の上で、あらゆる領域にわたって、一種の「特異点」ともいうべき複雑な状況が現出した時代だといってよからう。そうした状況を背景に創刊された『人民文学』といえは、戦後の民主主義文学運動のなかで、日本共産党の「五〇年問題」分裂と内部抗争の影響を強く受けた政治思潮を代表する雑誌の一つであるとして、一般的には理解されてきた。しかしこうした見方も、上述のような強風を経験した当事者たちの印象を映した、一面を強調して描かれた「特異」な姿だったのではないだろうか。この時代からおよそ六十年を経た現在その内容を総覧して感じるのは、思いの外に多様な分野から、また多様な思考方法を持った書き手たちが結集していたということだ。作家・批評家・詩人といったいわゆる文学関係者ばかりではなく、美術家・俳優・映画関係者たちが数多く執筆に参加しており、野間宏、安部公房ら若手作家たちの、その後のイメージとは違った姿を見出すこともできる。このたび『人民文学』の全貌が復刻刊行されることで、この雑誌に対する従来のイメージも大きく変わり、この時代と文化を考える上での新たな発見がいくつもなされていくに違いないと期待する。多喜二研究の立場からは、付録に収録される岩上順一の『小林多喜二と作品』も大変貴重である。



あらたな戦後史像のために

成田龍一
(日本女子大学)

思い起こしてみると、『人民文学』を一冊ずつ手に取りページを繰ったのは、二〇〇〇年ころのことであった。保存している図書館がほとんどない状態であるうえ、狭義の政治を優先した雑誌という先入観もあり、長いあいだ『人民文学』に接することをかまけていた。しかし一念発起して読み進めて行くうちに、当初の先入観が次々に覆されていくようになった。

なるほど『新日本文学』への対抗意識をむき出しにした記事もあったが、東アジアとの連帯や朝鮮戦争をめぐる動き、現状の変革を正面に据えた活動の様相が生々しく伝わってきた。世界各地の人民文学の情報が紹介されること、在日朝鮮人の執筆者が多いことも目を惹いた。加えて、読者からの投書や、カットや図版も興味深かった。

思うに、一九五〇年代はイデオロギーの時代であり、さまざまな現象がそのフィルターによって解釈され論じられていた。いま、半世紀たつてこの事態を歴史化するとき、生活世界と政治とを切り結ぼうとする「人民」の営みが見えてくる。そして、そうした人びとのエネルギーを背景に『人民文学』はサークルを介し、広義の文学活動を行っていた。いや、その人びとによって『人民文学』が存立し、「書く人民」を生み出していった。

こうした『人民文学』により一九五〇年代を考察するとき、戦後の光景もまた一転することになる。そして、このことは政治と文学の再定義を促すことにもなるはずだ。

人民文学 復刻版 概要

全一五巻・付録一・別冊一 A5判・上製本・総六・七五〇ページ

収録
「人民文学」(一九五〇年一月～一九五三年十二月刊・全36冊) 復刻版1～12巻に合本
「文学の友」(一九五四年一月～一九五五年二月刊・全14冊) 復刻版13～15巻に合本

付録
「別冊 文学の友」(一九五四年四月、七月、一〇月刊・全3冊) 付録1巻に合本
「小林多喜二と人と作品」(一九五二年二月刊、岩上順一著・人民文学社)

別冊
解説・回想・総目次索引+DVD1枚(全冊の表紙画像カラーデータ、総目次索引PDFデータ収録)
*別冊のみ分売可 本体価格11,000円+税 ISBN-978-4-8350-6612-4

解説
道場親信(和光大学准教授)

鳥羽耕史(徳島大学准教授)

回想
柴崎公三郎(元「人民文学」発行責任者)

推薦
加納実紀代(敬和学園大学教授)

島村 輝(フェリス学院大学教授)

坪井秀人(名古屋大学教授)

成田龍一(日本女子大学教授)

定価
本体価格二五八、〇〇〇円+税



(メーデーに参加した『人民文学』関係者)



配本一覧表

第4回配本	第3回配本	第2回配本	第1回配本	配本
第一三巻 第一四巻 第一五巻 付録 『別冊文学の友』第二集 『別冊文学の友』第三集 『別冊文学の友』第三集 「小林多喜二と人と作品」	第九巻 第一〇巻 第一一巻 第一二巻 別冊 解説・回想・総目次索引+DVD	第五巻 第六巻 第七巻 第八巻 第九巻 第一〇巻 第一一巻 第一二巻	第一巻 第二巻 第三巻 第四巻 第五巻 第六巻 第七巻 第八巻	復刻版巻数 原本の巻号数 原本の刊行年月 配本年月・価格 (ISBN)
五巻一〇号～五巻四号 五巻五号～五巻八号 五巻九号～六巻二号 『別冊文学の友』第二集 『別冊文学の友』第三集 『別冊文学の友』第三集 「小林多喜二と人と作品」	四巻三〇号～四巻四〇号 四巻五〇号～四巻六〇号 四巻七〇号～四巻八〇号 四巻九〇号～四巻一〇〇号 四巻一〇一～四巻一二〇 四巻一二一～四巻一四〇 四巻一四一～四巻一六〇 四巻一六一～四巻一八〇 四巻一八一～四巻二〇〇 四巻二〇一～四巻二二〇 四巻二二一～四巻二四〇 四巻二四一～四巻二六〇 四巻二六一～四巻二八〇 四巻二八一～四巻三〇〇 四巻三〇一～四巻三二〇 四巻三二一～四巻三四〇 四巻三四一～四巻三六〇 四巻三六一～四巻三八〇 四巻三八一～四巻四〇〇 四巻四〇一～四巻四二〇 四巻四二一～四巻四四〇 四巻四四一～四巻四六〇 四巻四六一～四巻四八〇 四巻四八一～四巻五〇〇 四巻五〇一～四巻五二〇 四巻五二一～四巻五四〇 四巻五四一～四巻五六〇 四巻五六一～四巻五八〇 四巻五八一～四巻六〇〇 四巻六〇一～四巻六二〇 四巻六二一～四巻六四〇 四巻六四一～四巻六六〇 四巻六六一～四巻六八〇 四巻六八一～四巻七〇〇 四巻七〇一～四巻七二〇 四巻七二一～四巻七四〇 四巻七四一～四巻七六〇 四巻七六一～四巻七八〇 四巻七八一～四巻八〇〇 四巻八〇一～四巻八二〇 四巻八二一～四巻八四〇 四巻八四一～四巻八六〇 四巻八六一～四巻八八〇 四巻八八一～四巻九〇〇 四巻九〇一～四巻九二〇 四巻九二一～四巻九四〇 四巻九四一～四巻九六〇 四巻九六一～四巻九八〇 四巻九八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六〇 四巻一〇六一～四巻一〇八〇 四巻一〇八一～四巻一〇〇〇 四巻一〇〇一～四巻一〇二〇 四巻一〇二一～四巻一〇四〇 四巻一〇四一～四巻一〇六			

●表示価格は全て税別。

不二出版

〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話(03)3812-4433
ファクシミリ(03)3812-4464
振替 0016002940884